

平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月4日

上場取引所 東

上場会社名 アクシアル リテイリング株式会社
 コード番号 8255 URL <http://www.axial-r.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役執行役員
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 原 和彦
 (氏名) 山岸 豊後

TEL 0258-66-6711

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	54,191	7.0	2,180	105.9	2,208	104.9	1,443	129.7
27年3月期第1四半期	50,646	55.5	1,059	17.2	1,077	15.6	628	16.1

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 1,509百万円 (124.7%) 27年3月期第1四半期 671百万円 (19.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	61.86	—
27年3月期第1四半期	26.93	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	91,734	42,758	46.6	1,831.72
27年3月期	92,557	41,832	45.2	1,792.05

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 42,758百万円 27年3月期 41,832百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	15.00	—	25.00	40.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	15.00	—	33.00	48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	108,000	2.9	3,200	3.9	3,200	3.1	1,900	1.7	81.39
通期	218,000	2.5	6,800	2.0	6,900	1.8	3,800	15.3	162.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細につきましては、この四半期決算短信【添付資料】6ページ「2 サマリー情報(注記事項)に関する情報 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	23,388,039 株	27年3月期	23,388,039 株
28年3月期1Q	44,690 株	27年3月期	44,670 株
28年3月期1Q	23,343,355 株	27年3月期1Q	23,343,577 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく監査手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

この四半期決算短信に記載されている業績予想等の将来に関する事項は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、この四半期決算短信【添付資料】5ページ「1 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

【添付資料】

目次

	頁
1 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2 サマリー情報（注記事項）に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
(四半期連結損益計算書)	9
(四半期連結包括利益計算書)	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 継続企業の前提に関する事項	12
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
(6) セグメント情報等	12
4 補足情報	14
(1) 生産、受注及び販売の状況	14

文中における将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び当社の連結子会社）が判断したものであります。

なお、将来に関する事項につきましては、不確実性を有しており、将来生じる結果と異なる可能性がありますので、記載しております事項に対する判断は、以下記載事項及び本項目以外の記載内容も合わせて慎重に行われる必要があります。

1 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用関連指標や企業収益など全般的には向上しているものの、地方経済への波及や個人消費の本格的回復には至っていない状況となっております。

このような状況において、当第1四半期連結累計期間における当社グループの連結経営成績は、売上高が541億91百万円（前年同期比7.0%増）、営業利益が21億80百万円（前年同期比105.9%増）、経常利益が22億8百万円（前年同期比104.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益が14億43百万円（前年同期比129.7%増）となり、各数値はいずれも過去最高となりました。また、1株当たり四半期純利益は61円86銭となりました。

売上高、営業利益につきましては、以下に記載いたしますセグメント区分ごとの要因により変動しております。経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、営業利益の増加により増加しております。

当第1四半期連結累計期間における各セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。なお、各セグメントの業績値につきましては、セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

① スーパーマーケット

(全般)

前年同期における消費税増税後の消費減退の反動で、前年同期との比較では当第1四半期累計期間の売上高は大幅に伸ばいたしました。

しかし、当社グループを取り巻く経済環境は楽観できる状況にはなく、客単価は前年同期に比べ全店で3.1%上昇し、一品単価は前年同期に比べ全店で3.7%増加した反面、買上点数は全店で0.6%減少しております。これは、物価上昇や社会保険料の個人負担増大等により個人の実質可処分所得が減少し、個人消費が力強さに欠けている表れと考えております。

このような厳しい販売環境において、当社グループでは、徹底的な無駄の排除と効率的な事業運営に取り組むことで、お客様にご支持をいただける商品の品質・価格、サービスを実現する原資を確保し、他社との差別化を図っております。

この結果、当第1四半期連結累計期間におきましては、客数が前年同期に比べ全店で4.0%、既存店で0.6%それぞれ増加いたしました。

(商品政策)

生鮮食品につきましては、全般的に相場高が続き、販売価格は高止まりして販売数量は伸び悩みました。

季節商品につきましては、新たな産地・商品の開拓や商品づくりの向上に努め、販売実績は伸ばいたしました。

また、生活スタイルの変化を踏まえ、値ごろ感、即食性、おいしさ等を意識し、普段使いの商品についてご満足いただける品質を圧倒的な低価格で実現した「Power Price」商品の品種拡大、当社グループならではの名物商品の育成やプライベートブランド商品の開発を拡大し、ご好評を得ることができました。

(販売政策)

近年導入した自動発注システムの活用範囲を拡大し、品切れや店舗作業の削減を図るとともに、従来の作業を新たな作業に振りかえ、適正活用することで売場状態やサービスレベルの向上を図っております。

季節催事に関しては、テーマを明確にして、商品の良さを知っていただく提案を工夫して積極的に行うことで、ご好評を得ることができました。

また、商品の安全性確保に関しては、社内ルールを強化し、安全・安心な商品の提供に努めました。

これらの結果、店舗段階の売上総利益率は前年同期に比べ0.6ポイント増加し25.1%となりました。

(コスト・コントロール)

原信ナルス、フレッセイが統合して以来進めてきた当社グループ全体での諸経費の見直し、共有、共同調達等の検討は、特に両社に共通する商品、資材、その他共通経費等でコスト削減効果が大きく表れるようになってきました。

なお、前年同期は新規出店1店舗と閉鎖1店舗がありましたが、当第1四半期連結累計期間は、新規出店及び改装がなかったため、前年同期との比較では当該関連諸経費の部分が減少しております。

この結果、スーパーマーケット事業の営業利益率は、前年同期に比べ2.0ポイント増加し3.8%となりました。また、連結全体での営業利益率は、前年同期に比べ1.9ポイント増加し4.0%となりました。

(出店・退店等)

出店及び改装につきましては、該当事項はありません。

退店につきましては、フィットネスクラブのフィットミー大根店（4月・群馬県前橋市）を閉鎖いたしました。

(業績)

当第1四半期連結累計期間の営業状況を示すと以下のとおりであります。

項目		当連結会計年度 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	前年同期比
店舗数	スーパーマーケット	124店舗	3店舗増
	100円ショップ	6店舗	増減なし
	フィットネスクラブ	1店舗	1店舗減
店舗売上高	全店	50,988百万円	107.2%
	既存店	48,871百万円	103.6%
来店客数	全店	2,685万人	104.0%
	既存店	2,575万人	100.6%
買上点数	全店	10.79点	99.4%
客単価	全店	1,899円	103.1%

- (注) 1 店舗売上高、来店客数、買上点数、客単価は、スーパーマーケット店舗のみの数値であります。
 2 店舗売上高及び客単価に消費税等は含まれておりません。
 3 店舗数は、当第1四半期連結会計期間末現在の設置店舗数であります。
 4 既存店は、店舗開設より満13か月以上を経過した店舗であります。
 5 買上点数は、お客様一人当たりが一回のご来店でお買い上げになった商品数の平均であります。
 6 客単価は、お客様一人当たりが一回のご来店でお買い上げになった金額の平均であります。
 7 前年同期比は、各月の比率の平均値であります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におけるスーパーマーケット事業の売上高は538億25百万円（前年同期比7.0%増）、営業利益は20億33百万円（前年同期比120.3%増）となりました。

② その他

(清掃事業)

外部顧客向けの販売は、微減いたしました。一方、スーパーマーケット事業向けの販売は請負先の増加に伴い増加いたしました。この結果、売上高は前年同期に比べ6.0%、営業利益は前年同期に比べ11.2%それぞれ増加いたしました。

(情報処理事業)

外部顧客向けの販売は、システム開発案件の納入時期の関係により減少いたしました。また、スーパーマーケット事業向けの販売は開発途上の案件が多かったことや、情報機器の受注が少なかったため減少いたしました。この結果、売上高は前年同期に比べ11.2%、営業利益は前年同期に比べ23.1%それぞれ減少いたしました。

(印刷事業)

外部顧客向けの販売は、新規顧客の開拓や受注件数の増加に努めた結果、増加いたしました。一方、スーパーマーケット事業向けの販売は、チラシ受注の減少により減少いたしました。この結果、売上高は前年同期に比べ1.3%増加いたしました。また、原材料費の高騰により営業利益は前年同期に比べ34.3%減少いたしました。

(運輸事業)

外部顧客向けの販売は、取扱い物量の増加により増加いたしました。一方、スーパーマーケット事業向けの販売は、納入資材の減少により減少いたしました。この結果、売上高は前年同期に比べ2.0%減少いたしました。また、管理諸経費の減少により営業利益は前年同期に比べ38.5%増加いたしました。

(自動車販売事業)

外部顧客向けの販売及びスーパーマーケット事業向けの販売は、いずれも増加いたしました。この結果、売上高は前年同期に比べ6.5%増加いたしました。また、管理諸経費の増加により営業利益は前年同期に比べ23.6%減少い

たしました。

(業績)

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におけるその他の事業の売上高は15億13百万円(前年同期比0.8%減)、営業利益は1億45百万円(前年同期比5.1%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態

当第1四半期連結会計期間末における連結財政状態は、総資産が前連結会計年度末に比べ8億22百万円減少し917億34百万円、総負債が前連結会計年度末に比べ17億48百万円減少し489億76百万円、純資産が前連結会計年度末に比べ9億25百万円増加し427億58百万円となりました。また、1株当たり純資産は1,831円72銭となりました。

当第1四半期連結会計期間末における各項目別の内容を示すと、次のとおりであります。

(総資産)

流動資産は238億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億56百万円減少いたしました。これは主に、営業債権の回収によるものであります。なお、流動資産の構成比は前連結会計年度末に比べ0.3ポイント減少し26.0%となりました。

固定資産は678億79百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億66百万円減少いたしました。その内容は次のとおりであり、固定資産の構成比は前連結会計年度末に比べ0.3ポイント増加し74.0%となりました。

有形固定資産は、510億58百万円となり前連結会計年度末に比べ3億62百万円減少いたしました。これは主に、減価償却によるものであります。

無形固定資産は、15億90百万円となり前連結会計年度末に比べ22百万円増加いたしました。これは主に、ソフトウェアの増加によるものであります。

投資その他の資産は、152億30百万円となり前連結会計年度末に比べ26百万円減少いたしました。これは主に、敷金及び保証金の減少によるものであります。

(総負債)

流動負債は286億86百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億56百万円減少いたしました。これは主に、納税による未払法人税等の減少と、短期有利子負債の返済による減少によるものであります。なお、流動負債の構成比は前連結会計年度末に比べ0.3ポイント減少し31.3%となりました。

固定負債は202億89百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億91百万円減少いたしました。これは主に、長期有利子負債の返済による減少によるものであります。なお、固定負債の構成比は前連結会計年度末に比べ1.1ポイント減少し22.1%となりました。

(純資産)

株主資本は409億73百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億60百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益14億43百万円の計上が前連結会計年度末に係る剰余金の配当5億83百万円を上回ったことによるものであります。

その他の包括利益累計額は17億85百万円となり、前連結会計年度末に比べ65百万円増加いたしました。これは主に、投資有価証券の時価変動によるものであります。

なお、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.4ポイント増加し46.6%となりました。

② キャッシュ・フロー

当第1四半期連結会計期間末における連結キャッシュ・フローは、現金及び現金同等物(以下、「資金」といいます。)が前連結会計年度末に比べ41百万円減少し121億68百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フロー別の状況を示すと、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は25億33百万円となり、前年同期に比べ1億64百万円増加(前年同期比7.0%増)いたしました。

これは主に、経常利益の増加によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は5億74百万円となり、前年同期に比べ7億88百万円減少(前年同期比57.9%減)いたしました。

これは主に、前年同期においては、主に新規出店1店舗及び第1四半期連結累計期間直後の新規出店等に係る設備投資を行っていたものの、当第1四半期連結累計期間においては、新規出店がなかったため、有形固定資産の取得による支出が前年同期に比べ5億79百万円減少(前年同期比42.2%減)したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は20億1百万円となり、前年同期に比べ48百万円減少(前年同期比2.4%減)いたしました。

これは主に、有利子負債の純増減額が前年同期並みであったことと、配当金の支払額の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

【第2四半期の業績予想値】

売上高1,080億円(前年同期比2.9%増)、営業利益32億円(前年同期比3.9%増)、経常利益32億円(前年同期比3.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益19億円(前年同期比1.7%増)を見込んでおります。

【通期の業績予想値】

売上高2,180億円(前年同期比2.5%増)、営業利益68億円(前年同期比2.0%増)、経常利益69億円(前年同期比1.8%増)、親会社株主に帰属する当期純利益38億円(前年同期比15.3%増)を見込んでおります。

【上記予想値の前提条件】

売上高につきましては、主たる事業であるスーパーマーケット事業において、競合状況の変化等を踏まえ、既存店売上高は通期で前年同期比0.4%の減少を見込む一方、全店売上高では新規出店3店舗による増加を見込んでおります。

営業利益、経常利益につきましては、店舗設備の省エネ化推進による費用削減効果を見込んでおります。なお、第2四半期連結累計期間に比べ、通期の伸び率が縮小しておりますが、これは、新規出店等が秋季に集中することに伴う新規出店諸経費の期間的な偏りの影響によるものであります。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、経常利益の増加に加え、法人税法等の改正による税金費用の減少で、前年同期に比べ増加を見込んでおります。

【業績の進捗状況等について】

第1四半期の業績実績値は、当初の想定を若干上回っておりますが、現時点で業績予想の修正はありません。

なお、第2四半期の業績予想値に対する第1四半期の業績実績値の進捗状況は以下のとおりであります。

(%表示は、対通期業績予想進捗率)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
第2四半期予想値 (A)	108,000	3,200	3,200	1,900	81.39
第1四半期実績値 (B)	54,191	2,180	2,208	1,443	61.86
進捗率(%) (B)/(A)*100	50.2	68.1	69.0	76.0	76.0

【注意事項】

この四半期決算短信に記載されている業績予想等の将来に関する事項は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は既知及び未知のリスク、不確実性及びその他様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、当社グループが認識している事業等のリスクにつきましては、当社の有価証券報告書をご参照ください。

2 サマリー情報（注記事項）に関する情報

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当四半期連結累計期間において、連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表規則に規定する「四半期連結財務諸表作成に特有の会計処理」の適用はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

企業結合に関する会計基準等の適用

1 当該会計基準等の名称

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）

2 当該会計方針の変更の内容

四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。

当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3 当該経過措置に従って会計処理を行った旨及び当該経過措置の概要

該当事項はありません。

4 当該会計方針の変更による影響額

従来の会計処理の方法によった場合に比べ、当該会計基準等を適用することによる四半期連結財務諸表に対する影響額ははありません。

3 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,212	12,170
受取手形及び売掛金	1,070	1,043
リース投資資産	1,675	1,611
商品及び製品	4,615	4,639
仕掛品	10	33
原材料及び貯蔵品	266	254
未収還付法人税等	193	265
繰延税金資産	899	1,035
その他	3,381	2,818
貸倒引当金	△14	△17
流動資産合計	24,311	23,855
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	24,449	23,939
機械装置及び運搬具（純額）	451	432
土地	20,649	20,521
リース資産（純額）	3,055	2,960
建設仮勘定	781	1,249
その他（純額）	2,033	1,955
有形固定資産合計	51,420	51,058
無形固定資産		
のれん	33	31
その他	1,534	1,559
無形固定資産合計	1,567	1,590
投資その他の資産		
投資有価証券	3,787	3,890
長期貸付金	30	29
繰延税金資産	2,022	1,992
敷金及び保証金	8,274	8,170
その他	1,175	1,180
貸倒引当金	△34	△34
投資その他の資産合計	15,256	15,230
固定資産合計	68,245	67,879
資産合計	92,557	91,734

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	13,392	14,051
1年内返済予定の長期借入金	4,906	4,652
リース債務	525	518
未払法人税等	1,478	937
ポイント引当金	67	68
役員賞与引当金	229	79
賞与引当金	1,695	2,200
その他	6,947	6,177
流動負債合計	29,242	28,686
固定負債		
長期借入金	6,865	5,812
リース債務	3,887	3,764
資産除去債務	4,747	4,762
長期預り保証金	5,177	5,152
役員退職慰労引当金	30	31
退職給付に係る負債	404	401
その他	369	366
固定負債合計	21,481	20,289
負債合計	50,724	48,976
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,159	3,159
資本剰余金	15,749	15,749
利益剰余金	21,259	22,119
自己株式	△55	△55
株主資本合計	40,112	40,973
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,634	1,704
退職給付に係る調整累計額	84	80
その他の包括利益累計額合計	1,719	1,785
純資産合計	41,832	42,758
負債純資産合計	92,557	91,734

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	50,646	54,191
売上原価	37,178	39,483
売上総利益	13,467	14,707
販売費及び一般管理費		
ポイント引当金繰入額	44	68
従業員給料	2,015	2,033
雑給	3,314	3,462
役員賞与引当金繰入額	61	79
賞与引当金繰入額	787	732
役員退職慰労引当金繰入額	1	1
退職給付費用	66	65
地代家賃	1,236	1,272
減価償却費	861	812
のれん償却額	2	2
貸倒引当金繰入額	2	4
その他	4,013	3,991
販売費及び一般管理費合計	12,408	12,526
営業利益	1,059	2,180
営業外収益		
受取利息	19	18
受取配当金	21	24
その他	27	19
営業外収益合計	69	62
営業外費用		
支払利息	39	33
その他	10	0
営業外費用合計	50	34
経常利益	1,077	2,208
特別利益		
固定資産売却益	0	1
特別利益合計	0	1
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	1	0
減損損失	7	7
特別損失合計	9	8
税金等調整前四半期純利益	1,068	2,201
法人税、住民税及び事業税	707	894
法人税等調整額	△267	△136
法人税等合計	440	757
四半期純利益	628	1,443
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	628	1,443

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	628	1,443
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	48	69
退職給付に係る調整額	△4	△4
その他の包括利益合計	43	65
四半期包括利益	671	1,509
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	671	1,509
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,068	2,201
減価償却費	899	850
減損損失	7	7
のれん償却額	2	2
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2	3
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△12	1
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△136	△149
賞与引当金の増減額 (△は減少)	835	504
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△3	1
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△12	△9
受取利息及び受取配当金	△41	△43
支払利息	39	33
固定資産売却損益 (△は益)	△0	△1
固定資産除却損	1	0
売上債権の増減額 (△は増加)	191	26
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△60	△34
仕入債務の増減額 (△は減少)	184	658
未払又は未収消費税等の増減額	495	△690
リース投資資産の増減額 (△は増加)	66	63
その他	555	583
小計	4,084	4,009
利息及び配当金の受取額	22	25
利息の支払額	△34	△28
法人税等の支払額	△1,704	△1,472
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,368	2,533
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△0	△0
有形固定資産の取得による支出	△1,376	△796
有形固定資産の売却による収入	0	152
無形固定資産の取得による支出	△49	△53
貸付けによる支出	△0	△1
貸付金の回収による収入	3	3
その他	59	121
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,362	△574
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△200	—
長期借入金の返済による支出	△1,095	△1,305
リース債務の返済による支出	△133	△133
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△621	△561
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,050	△2,001
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,043	△41
現金及び現金同等物の期首残高	10,944	12,210
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,900	12,168

(4) 継続企業の前提に関する事項

当第1四半期連結会計期間（自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日）
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間（自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日）
該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

【セグメント情報】

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日）

	報告セグメント		その他 (百万円)	合計 (百万円)
	スーパー マーケット (百万円)	計 (百万円)		
売上高				
外部顧客に対する売上高	50,256	50,256	389	50,646
セグメント間の内部売上高又は振替高	39	39	1,136	1,175
合計	50,296	50,296	1,525	51,821
セグメント利益	923	923	153	1,076

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報処理事業、清掃事業、印刷事業、運輸事業、自動車販売事業等を含んでおります。

当第1四半期連結累計期間（自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日）

	報告セグメント		その他 (百万円)	合計 (百万円)
	スーパー マーケット (百万円)	計 (百万円)		
売上高				
外部顧客に対する売上高	53,785	53,785	405	54,191
セグメント間の内部売上高又は振替高	39	39	1,107	1,147
合計	53,825	53,825	1,513	55,338
セグメント利益	2,033	2,033	145	2,179

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報処理事業、清掃事業、印刷事業、運輸事業、自動車販売事業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

利益	前第1四半期累計期間	当第1四半期累計期間
報告セグメント合計	923百万円	2,033百万円
「その他」の区分の利益	153百万円	145百万円
セグメント間取引消去	△9百万円	8百万円
全社費用	△154百万円	△187百万円
その他の調整額	146百万円	180百万円
四半期連結損益計算書の営業利益	1,059百万円	2,180百万円

(注) 1 セグメント間取引消去は、主にセグメント間の固定資産売買によって生じた未実現利益に係る調整であります。

2 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社(持株会社である当社)に係るものであります。

3 その他調整額は、主に報告セグメントに帰属しない全社(持株会社である当社)に対する経営指導料支払額の消去であります。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

4 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な影響を及ぼすものではありません。

4 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 販売実績

(単位 百万円、%)

項目		前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)		前年同期比		
		売上高	構成比	売上高	構成比	金額	比率	
スーパーマーケット	生鮮食品	青果	6,915	13.4	7,655	13.8	739	110.7
		精肉	5,767	11.1	6,150	11.1	383	106.6
		水産	5,072	9.8	5,294	9.6	222	104.4
		惣菜	4,416	8.5	4,893	8.8	477	110.8
		計	22,171	42.8	23,993	43.3	1,821	108.2
	一般食品	デイリー	9,868	19.0	10,391	18.8	522	105.3
		加工食品	13,195	25.5	14,065	25.4	869	106.6
		インスタアペーカリー	663	1.3	758	1.4	94	114.2
		計	23,728	45.8	25,215	45.6	1,487	106.3
	住居	1,767	3.4	1,900	3.4	133	107.5	
	衣料品	38	0.1	38	0.1	△0	99.9	
	その他	169	0.3	143	0.3	△25	84.9	
	営業収入	2,381	4.6	2,493	4.5	112	104.7	
セグメント間の内部売上高又は振替高	39	0.1	39	0.1	0	100.7		
	小計	50,296	97.1	53,825	97.3	3,529	107.0	
その他	外部顧客に対する売上高	389	0.7	405	0.7	16	104.2	
	セグメント間の内部売上高又は振替高	1,136	2.2	1,107	2.0	△28	97.5	
	小計	1,525	2.9	1,513	2.7	△12	99.2	
	合計	51,821	100.0	55,338	100.0	3,516	106.8	

② 仕入実績

(単位 百万円、%)

項目		前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)		前年同期比		
		仕入高	構成比	仕入高	構成比	金額	比率	
スーパーマーケット	生鮮食品	青果	5,495	14.7	6,120	15.4	624	111.4
		精肉	4,368	11.7	4,555	11.5	186	104.3
		水産	3,658	9.8	3,787	9.6	129	103.5
		惣菜	2,638	7.0	2,873	7.2	234	108.9
		計	16,161	43.2	17,336	43.7	1,175	107.3
	一般食品	デイリー	7,403	19.8	7,784	19.6	381	105.1
		加工食品	10,679	28.6	11,310	28.5	631	105.9
		インスタアペーカリー	296	0.8	340	0.9	44	114.9
		計	18,379	49.2	19,436	49.0	1,056	105.7
	住居	1,430	3.8	1,519	3.8	89	106.2	
	衣料品	28	0.1	28	0.1	0	100.5	
	その他	82	0.2	58	0.2	△24	70.7	
	リース原価	66	0.2	63	0.2	△2	95.8	
セグメント間の内部仕入高又は振替高	81	0.2	83	0.2	1	101.7		
	小計	36,230	96.9	38,526	97.2	2,295	106.3	
その他	外部取引先からの仕入高	1,065	2.8	1,064	2.7	△0	99.9	
	セグメント間の内部仕入高又は振替高	94	0.3	60	0.1	△34	64.2	
	小計	1,160	3.1	1,125	2.8	△34	97.0	
	合計	37,391	100.0	39,652	100.0	2,261	106.0	

(注) セグメント間の内部取引高を含めて表示しており、消費税等は含まれておりません。